

限られた空間を利益に変える新交換スタイル

スタッフの省力化、ユーザーの利便性向上、ホールの省スペース化——。全てをもたらす『EVO50』に迫る。

進化を続けるマースの セルフ交換システム

最新製品のエヴォールスマー
トセルフ交換機『EVO50』は、

スタッフを介することなくユー
ザー自身で景品交換ができる
と同時に、忘れがちな残高精算ま
でも一度に完結することが可
能。これにより従来のセルフ交

【対面型カウンター】

- ・閉店間際は長蛇の列
- ・景品交換に時間がかかる
- ・スタッフの確保も大変
- ・広いスペースが必要
- ・端玉だけだと恥ずかしい
- ・誰にも知られたくない
- ・後ろに並べられるとプレッシャー



換POSと比べ、スタッフの業
務負担の大幅削減と、ユーザ
ーの利便性の大幅向上を実現する。
使用時は、15インチの液晶タッ
チパネルとボイスアシスト機能
によって直感的な操作をサポー
ト。また、オプションでセキュ
リティカメラを搭載すれば、景
品や現金の取り忘れなど、万が
一の事象への対応も万全だ。さ
らに、エヴォールカードリーダー
を併用すれば、ドリンクなどの
景品を自動販売機で管理するこ
ともできるなど、拡張性も持ち
合わせている。

こうした優位性から、マース
エンジニアリングのセルフ交換
システムの全国導入件数は55
0店舗を超えている。

**ホールにもたらず
3つのベネフィット**

『EVO50』によって実現した

新たな景品交換スタイルは、大
きく分けて次の3つのベネ
フィット（恩恵）をホールへも
たらす。

①スタッフの業務効率化・ 省力化

従来のセルフ交換カウンター
は、ユーザー自身によるセルフ
交換と、スタッフによる有人交
換の両方に対応した運用が基本
スタイルだった。しかし、『EVO
50』はセルフ交換が前提のため、
スタッフはカウンターに常駐す

セルフ交換システム 全国導入状況

2025年4月現在

550
店舗突破！



交換も精算も ここで完結

『EVO50』は壁から60cmのスペースがあれば設置可能。従来のカウンターに依存することなく設置できる

る必要がない。スタッフの省力化、
少人数での店舗オペレーション
も可能とする。

②ユーザーの利便性向上

スタッフが介在する交換は手
順が増え、1人当たりの交換時
間が延びる傾向にあった。一方、
セルフ交換では、自分のタイミ
ングで思うままに交換ができる
ため、回転率が高くなり、閉店
間際に見られる景品交換渋滞の
解消にも繋がる。

③省スペース化の実現

従来はアイランド型のカウン
ターが必要だったが、『EVO50』
を使ったセルフ交換システムは
壁から60cmのスペースがあれば
設置可能。これは特に景品カウ
ンターのスペースが狭い都市型
店舗にとって魅力的な話だろう。

これまで中々手を付けにく
かったカウンターに手を加える
ことで、新たな空間が生まれ、
さらなる有効活用が可能となる。
限られた空間を利益に変える攻
めの一手として、『EVO50』
の導入は効果的だ。

老舗店の省力＆省スペース化、混雑回避に

着実に導入店舗を増やす『エヴォールスマートセルフ交換機』。《新宿アラジン》では、同製品でオールセルフ交換の環境を創出した。



2階のセルフ交換カウンター。カウンター周りのスペースに余裕がで、



1階のセルフ交換カウンター。有人カウンターを撤去したことで開放感のあるスペースに。

年末年始にかけ改装 全台セルフ交換システムに

新宿駅西口に店を構える《新宿アラジン》（鳳企業株式会社・泰青代表取締役社長）。群雄割拠する新宿エリアの老舗店として知られる同店では、昨年末から今年の年始にかけて、カウンター周りの改装を段階的に実施。全てのカウンターをセルフ交換システムにすることによって、スタッフの省力化と遊技客の利便性向上を実現した。

「これまで会員専用という形でセルフ交換システムを運用していましたが、当店のお客様の交換割合は、ワンデーカードのお客様が8割を占めており、閉店間際にもなれば交換を待つお客様でカウンター前には長蛇の列が出来ていました。スタッフの作業負担や効率面を考えると厳し

い状況で、閉店作業に支障も出るほどでした。こうした環境をセルフ交換システムの力で解消したかったんです」と導入の狙いを話すのは同店の飯石瑠一店長だ。

『エヴォールスマートセルフ交換機』はPOSを介さずに景品交換と残高精算をその場で完結できる点が特長。言い換えれば、スタッフを介することなく、遊技客自身で景品交換・残高精算が可能で、スタッフの業務負担の大幅軽減に貢献する。

オールセルフ化以降、閉店間際のカウンター混雑はみるみる解消。スムーズな景品交換が可能となり、閉店作業が大きく効率化された。また、自分のタイミングで思うままの交換ができる利便性の高さに対し、遊技客からの評判も良い。手慣れた客は約1分で交換を終えるという。



《新宿アラジン》
東京都新宿区西新宿1-19-1
総台数：832台（P410台、S422台）

ているという。

そして、同店が積極的に取り組む社会貢献活動についても同製品にその機能を盛り込むことで、遊技客が簡単に参画できるようになっている（左上カコミ参照）。

最後に飯石店長は「大きなチャレンジでしたが、オールセルフ化という選択は、働き方改革や昨今の人手不足の面から考えても、今後間違いなく拡大していくと思います。運用する中で様々な課題と同時にチャンスも生まれているので、それをどうクリアし、どう活かしていくかを日々考えていきたいです」と力を込める。

「余り玉寄付機能」で pp奨学金をサポート

同店では返済義務のない給付型の奨学金制度で学生を支援する「パチンコ・パチスロ奨学金（pp奨学金）」を積極的に推進している。『エヴォールスマートセルフ交換機』には、セルフ交換実施時の余り玉の処理方法として「余りを寄付」を選択することが可能で、同機能を活用することで遊技客が簡単に参画できるようにしている。同製品は、省力化や利便性向上のほか、社会貢献活動もサポートする。



交換画面の右下にある「余りを寄付」ボタンを押すことで、

省スペース化でも 導入メリット実感

『エヴォールスマートセルフ交換機』の大きな特長のひとつが、どこでも設置可能という点だ。同製品と景品払出機を組み合わせることで景品交換と残高精算が行えるため、壁から60cmのスペースがあれば設置できる。そのため同店では、同製品の導入に際して、アイランド型の有人カウンターを撤去している。

「都心型の店舗はどうしても店内スペースの制約が大きいですが、しかしこの製品はコンパクトに設置できるので、非常に助かりました。カウンターを撤去したことでもスペースに余裕が生まれ、遊技機の増台や、賞品スペースの拡大など、お客様に対するサービス強化に繋げることができました」と飯石店長は評価する。特に賞品スペースの拡大については、大型の冷蔵庫を設置することが可能となったことで、賞品補充の労力が削減され、これまたスタッフの省力化に繋がっ